

Fore-Z

重要インフラから非重要インフラを見た
サイバーセキュリティの違和感についての話

2024.11

自己紹介

名前：安喜莞弦

所属企業：株式会社フォアゼット

経歴	
2017年	電力系会社（関西） 入社
	NW構築保守 CSIRT・グループ会社SIRT EDRリプレイス対応等技術検討 グループ会社セキュリティ統括他 お国からの訓練対応等
2022年	ICSCoE 6期
2024年	株式会社フォアゼット入社

現在の職務：脆弱性診断やペネトレーションテストといった技術他セキュリティ領域全般

よく聞く話...

セキュリティ対策進んでいない

不十分なことをわかっていない

やらないといけないとは思っているが…で止まる

「セキュリティはやって当たり前」とまでは言わないが、

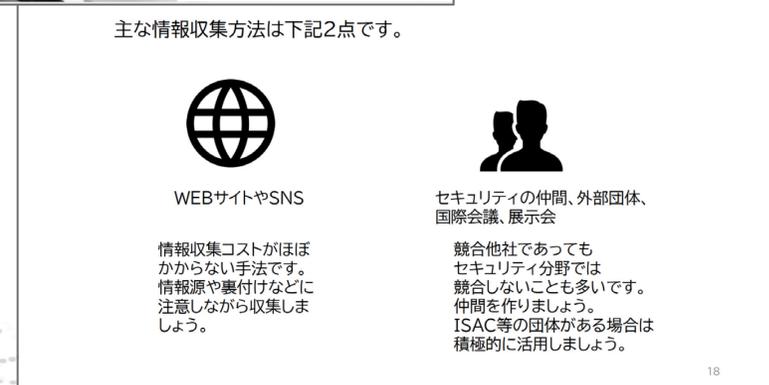
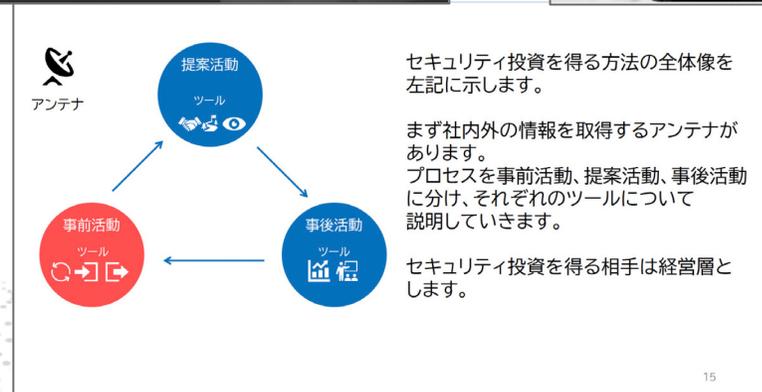
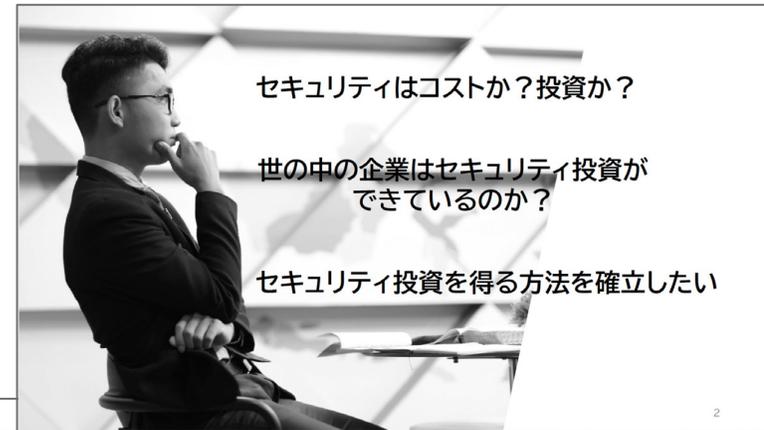
問題点

明確な基準がなく、業種に関わらず同じような悩み



- 「インシデント後の影響力」の差による危機意識の欠如
- 「長期的視点の欠如」による即効性のない投資への懐疑
- 管理体制の非構築
- 組織の「セキュリティ文化」としての非定着
- 「セキュリティ市場の最新動向」に対する情報不足

参考



https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/core_human_resource/final_project/2023/how-to-get-security-investments.html

「セキュリティ市場の最新動向」に対する情報不足

EDR入れれば大丈夫なんですよ？

セキュリティ事故のニュースはよく聞くけど、うちは、

うちはNW完全に切り離してるから

Lol攻撃って？

▼
全て今年聞いたセリフ。情報のキャッチアップが疎かでは？

なぜ情報収集が疎かなのか

- 情報に対する価値の認知
- 情報共有基盤の存在有無の認知
- 情報を知るならば出さないといけないという事実に対するしぶり
(経営層の理解含め)

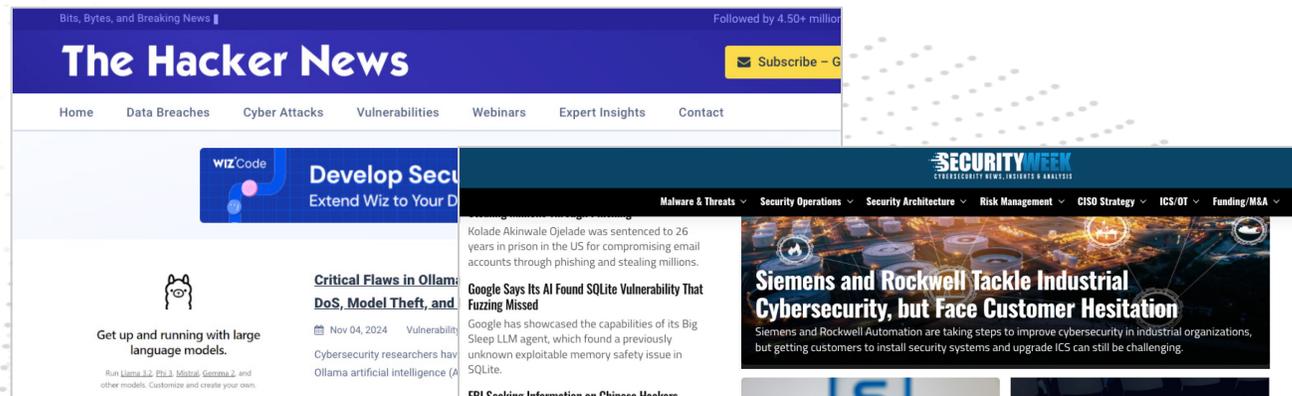
根本

情報資産の可視化がされておらず、「守らないとどうなるか」が具体的に理解されていない
情報の価値が数値化・具体化されておらず、経営判断の材料として認識されていない
サイバー攻撃や情報漏洩のリスクが「自分たちの問題」として認識されていない
セキュリティが「防御的な支出」と見なされ、戦略的投資と認識されていない
経営と現場でのセキュリティの「共通言語」の欠如

まとめ

これからを生き抜くセキュリティ人材になるには(非重要インフラ向け)

- 国から厳重な対策を指示されていない現状でどう動いていくか
 - 他業界の規制やグローバルスタンダードに乗っ取り自主的な対策を
- 情報収集とピックアップ、社内展開 交換を含めできるように
 - 取り残されないために、騙されないために



- 日本CSIRT協議会やISAC等
- IPA/JPCERTの公式ドキュメント